

ネイチャーウォッチングだより

令和8年8月25日(火)

主催:愛知教育文化振興会

協力:岡崎大学・短期大学

8月22日(土)、Bグループの第1回ネイチャーウォッチング「川の生き物調べ」を開催しました。会場は岡崎市ホテル学校とすぐ横を流れる鳥川です。記録的な猛暑続きと渇水の影響で鳥川の水量も少なくなっていました。当日も晴れて暑い日になりましたが、27組の親子(計85名)が参加し、川にすむ生き物について講師の先生から学び、実際に川に入って生き物採集をしました。



渡邊先生による川の生き物の解説

今回の講師は、岡崎市立羽根小学校の渡邊政則先生です。はじめにこの地域で見られる代表的な魚類や甲殻類、水生昆虫、貝類などを写真で解説、続いて川の生き物を捕まえるための網の使い方や、捕まえた生き物を観察するための便利グッズも実物で紹介していただきました。そして、川の中の石はコケで滑りやすいので注意することや、水深のある川では救命胴衣を身に着けることの説明もありました。

またクイズを通して、①川魚のアユはスイカの香りがして「香魚」とも呼ばれること、②水生昆虫のカワゲラやカゲロウは枯葉や生き物の死骸、石についているコケなどを食べて成長すること、③サケは川で産まれて海に行って成長し、再び川に上って産卵するのに対して、ウナギは海で産まれて川に上って成長すると、再び海に行って産卵することを教えていただきました。

次に、川での生き物採集を体験しました。鳥川は幅が3~4メートルほどで、水深は深いところでも子どもの膝くらいしかなく、安全に活動することができます。川底は石が多く、生き物の隠れ場所がたくさんあり、6月から7月にはたくさんのホテルが飛び交いました。

活動が始まると、「魚ゲット! これなんだろう?」、「カニがいたよ!」、「トノサマガエル捕まえた!」と喜びの声が次々に聞こえてきました。サワガニを何匹も捕まえた子、バケツにカワムツをたくさん入れ



ヤゴがたくさんいたよ!

ている子、石の裏にいるカゲロウやトビケラ、どこに生き物がいるのかな? トンボの幼虫のヤゴなど水生昆虫を何匹も見つけた子などがいました。親子で協力して予想以上に多くの種類の生き物を観察することができ、とても有意義な時間になりました。しっかり観察した後は、生き物は川に戻してお別れしました。

最後に事後アンケートから感想の一部を紹介します。

- ・事前に生き物の紹介を聞いたので、生き物探しがより楽しかったです。イベントとして参加できたことで安心して川に入って楽しめました。(母)
- ・すごい楽しかった。魚がとれて嬉しかったです。(子)

- ・カエルを捕まえたり、サワガニを捕まえられたりしたのが楽しかったです。(子)
- ・なかなか川遊び等をする機会が少ないので、楽しかったです。子どもの時を思い出しました。(親)



参加親子 全員集合!

- ・川に入って生き物を捕まえたり触ったり貴重な体験ができ、子どもの生き物に対する関心が高まって、とても良い時間でした。(母)
- ・子どもも大人も楽しめて学べる企画で良かったです。(父)
- ・カエルが可愛かった。(子)